

珠洲市復興計画

～魅力ある最先端の復興～

〔概要版〕

令和7年2月
珠 洲 市

1. 基本的な考え方

(1) 基本理念

能登半島の先端に位置する本市において古から受け継がれてきた里山里海の営みの再生をベースに、近年取り組んできた大学と連携した人材育成事業やSDGsの推進、トキの放鳥に向けた取り組み、日本中央競馬会の引退競走馬を活かす取り組み、奥能登国際芸術祭などを復興への光として、アートや先駆的な技術を取り入れ、さらに次の世代に引き継ぐことのできる、より強靱で安全な新たな地域づくり、より生産性の高い生業(なりわい)づくりを目指します。

(2) 復興への進め方

市民の皆様や関係の皆様とともに考え、議論し、誰一人取り残すことのない持続可能な復興に向けて連携して進めていきます。

本市の取り組みが、今後の我が国のあり方を指し示すこととなるよう、魅力ある最先端の復興を成し遂げます。

2. 復興計画期間

復興計画期間は、珠洲市の最上位計画である「まちづくり総合指針」と連動した期間が適していると考えられることから、計画期間を6年間(令和6年度から令和11年度まで)に設定し、短期的なものは2年間(令和6年度から令和7年度まで)で取り組みます。



3. 基本方針

基本方針1 より強靱で安全な、災害に強い地域づくり

基本方針2 暮らしとコミュニティの再建

基本方針3 生産性の向上を図るなりわいの再建

基本方針4 自然と文化を活かし、これまでの取り組みを発展させた魅力ある地域の再生

基本方針5 DXの推進による「つながる社会」の実現

基本方針1 より強靱で安全な、災害に強い地域づくり

【復旧】 道路や上下水道などインフラの早期復旧・強靱化

道路、上下水道、電気、通信をはじめとするインフラの早期復旧は、全ての復興の前提となるものであり、その迅速化を図ると同時に強靱化に取り組みます。

大施策1-1 市民生活を支える公共施設の強靱化

- 強靱な道路構造の採用(補強盛土、防災路肩等)
- 津波避難路などの充実強化(高台までの避難円滑化)
- まちづくりと一体となった上下水道インフラの最適化
- 処理区域特性や将来人口を踏まえた代替案の検討(コミュニティプラント、浄化槽)
- 農地・農業用施設、林道・治山施設、漁港施設等の強靱化
- 海岸堤防、防波堤の機能強化
- 災害に強い都市計画及びまちづくり



避難路の充実強化のイメージ

【防災】 災害に強い安全・安心なまちづくり

自律分散型インフラの導入や災害時の危機管理体制など被災者への対応の充実化を図ります。さらに先駆的な技術として、ドローン配送の物流基盤整備等を進め、我が国のあり方を指し示すことにもつながる魅力ある最先端の復興を成し遂げます。

大施策1-2 災害に強い地域づくり

- 最先端の浄水技術を利用した小規模分散型の飲料水供給システムの構築
- 自主防災組織の強化
- 公共施設等で再生可能エネルギーの地産地消(災害に強い自立・分散型のエネルギーシステムの構築・推進)



災害に強い自立・分散型のエネルギーシステムのイメージ

大施策1-3 危機管理体制の検証と充実

- 課題の抽出、防災計画や地震被害想定の見直し
- 災害記録誌の作成と防災教育の推進
- ドローンの整備と訓練



ドローンの整備と訓練のイメージ

【情報】 平時から情報がしっかり届く基盤整備

情報通信基盤整備により、平時における通信環境の向上を進めるとともに、災害時における情報通信手段の確保を図ります。また、マイナンバーカードを活用した避難者情報管理システムの構築や、DXを活用した被災者台帳のデータベース化等、被災者の情報管理システムの構築を進めます。

大施策1-4 情報通信基盤の強靱化

- 居住地における携帯電話等エリアの充実

大施策1-5 スマート生活の実現

- 「いしかわ ID」との連携で、市民の避難状況の把握や平時における県・市・民間事業者のデジタルサービスの利便性向上



避難者情報管理システムのイメージ

● 代表的な事業

<イメージ図の出典>

内閣府 <https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/r04/photo/ph036.html>

環境省 https://www.env.go.jp/earth/2023kenshouhyouka/10_jiritu.pdf

国土交通省 報道発表資料 <https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08.hh.000978.html>

デジタル庁ニュース <https://digital-agency-news.digital.go.jp/articles/2024-06-04>

基本方針2 暮らしとコミュニティの再建

【住まい】コミュニティの維持を可能とする住宅の整備

住まいの再建として、仮設住宅の建設を早急に進めるとともに、長期の利用も可能な災害公営住宅の整備も進めます。仮設住宅、災害公営住宅の建設は可能な限りコミュニティを維持できるよう配慮します。

大施策 2-1 暮らしと住まいの再建

- 10 地区の復興プラン作成
- 住まい再建支援補助金の創設
- 地域コミュニティ施設(集会所、神社、寺院等)の再建支援



災害公営住宅の整備イメージ

【伝統文化】地域の拠り所となる祭りの再興、公民館の再建

各地区の拠り所となるお寺、お宮、お祭り用具の修復、再建の支援を充実させます。また、公民館を拠点とする地域力の強化を図り、DX等を活用したスマート生活の実現における学習拠点としての機能も高めます。

大施策 2-2 祭りの再開支援、文化財の再建

- 復興過程の発信なども検討
- 被災文化財の修復
- 無形(民俗)文化財の再建

大施策 2-7 公民館を拠点とする地域力の再建

- 公民館活動(学習講座・イベント等)の早期再開



祭りの再興のイメージ

【子育て・教育】里山里海を活かした子育て・教育環境の整備

学校は教育の提供だけでなく、地域の防災拠点として重要な役割を担っており、安全・安心な学校施設の整備を進めるとともに、少子化が進む中であっても、持続可能性を探りながら、GIGAスクール構想によるICT教育やSDGs学習を推進し、質の高い魅力ある教育の提供に努めます。

大施策 2-3 子育て支援の更なる充実

- 子どもの遊び場の整備

大施策 2-4 学びの環境の再建

- 地域全体で子どもたちの未来を育む教育の推進
- オンライン授業の充実など
- 石川県立飯田高等学校との連携



SDGs学習のイメージ

【生活サービス】すべての人が安心して暮らせる生活サービスの強化

高齢化率が50%を超える本市においては、医療や福祉サービスを受けられることが暮らしの基本です。すべての人が安心して暮らせるように、珠洲市総合病院の機能強化、医療・福祉サービスの再建・強化を進めます。引き続き、市民の足として「すずバス」を運行します。

大施策 2-5 医療・福祉・介護予防の再構築

- 災害医療受入体制の充実

大施策 2-6 地域公共交通の再建

- 自動運転バスの導入



自動運転バスの導入イメージ

<イメージ図の出典>

珠洲市観光サイト GO TO SUZU <https://www.city.suzu.lg.jp/site/kankou/1797.html>

能登 SDGsラボ <https://noto-sdgs.jp/2021/494/>

国土交通省 <https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001751816.pdf>

● 代表的な事業

基本方針3 生産性の向上を図るなりわいの再建

【事業再建】 事業再開支援、創業支援、商店街の再建

なりわいの再建は現役世代の定住に不可欠であり、甚大な被害を受けた農業施設、水産業基盤、森林、事業所、生産関連施設等の再建支援を進めます。また、里山里海資源を活かした新事業創出を推進するとともに、中心商業エリアはまちづくりやなりわい再建と連携した再生を目指します。

大施策 3-1 被災した事業所等の早期復旧・再建支援

- 事業継承補助金の創設
- 中小機構の災害対策支援を活用した仮設店舗の設置

大施策 3-4 商店街・市街地の再建

- 仮設・復興商店街の整備

大施策 3-6 新しい事業の創出

- 新たなビジネスを創出し、地域の活性化を図る取り組みを支援
- まつり御膳、精進料理、報恩講料理などの伝統料理の発信



仮設店舗による事業再建のイメージ



ビジネスマッチングのイメージ

【珠洲らしい産業の再建】 農林水産業、地場産業の再建

本市の産業の中心は農林水産業であり、それらを核に特色のある伝統産業が形成されています。支援制度を最大限活用し、施設再建等を進めるとともに、「スマート農業」「スマート水産業」の導入など、なりわいの再建に合わせ、先端技術の活用による生産性の向上を目指します。

大施策 3-2 農林水産業の再生

- 担い手の確保と関係人口の創出
- 農林水産物の高付加価値化
- ゼロカーボン農林水産業の実現

大施策 3-3 地場産業、伝統工芸品産業の再建

- 製塩業、窯業(珪藻土)、酒造業、製炭業の再建支援
- 珠洲市陶芸センター自立支援工房活用と仮設工房設置及び共同窯修繕・構築による珠洲焼の早期復興



水産業による賑わいづくりのイメージ

【新たな珠洲の魅力】 観光産業の再建

従来の里山里海を活かした観光資源の再生に加え、農林水産業を観光コンテンツとして活用し体験サービス等を提供することで、インバウンドを含む国内外の観光客を里山里海へ呼び込む農泊、海業、森林サービス産業を推進し、付加価値の向上と関係人口の創出を図ります。

大施策 3-5 観光産業の再建

- 新たな見附島の活用
- 地盤隆起や断層等の地域資源化に向けた調査
- 自然歩道(ロングトレイル)の整備
- 学習プログラム(防災・減災、復興過程等)の開発
- 復興応援ツアーの実施



林業の観光コンテンツ化のイメージ

● 代表的な事業

<イメージ図の出典>

珠洲発・暮らしのウェブマガジン すっとずっと https://sutto-zutto.com/tokutei_chiiki-dukuri/

水産庁 https://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/wpaper/r04_h/trend/1/zoom_p5_3-02.html

林野庁 <https://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson/kassei/sangyou.html>

自然と文化を活かし、これまでの取り組みを 基本方針4 発展させた魅力ある地域の再生

【移住・定住】 交流人口、関係人口を拡大し移住・定住を推進

世界農業遺産(GIAHS)に認定された自然環境と里山里海が本市の魅力の基礎となります。豊かな伝統文化や自然を背景に、これまでに多くの取組を実施し、交流・関係人口の拡大を進めてきました。これまでの取組を活かしながら、移住・定住へつなげ持続可能な地域を構築します。

大施策 4-1 移住・定住の促進

- U・Iターン相談窓口の機能強化
- 住みやすい居住環境の整備
- 多様な働き方に対する支援



移住ツアーのイメージ

【芸術(アート)】 芸術祭やアートによる魅力の創造

豊かな伝統文化や自然を背景に、奥能登国際芸術祭を活用し、アートを柱とする各種ツーリズムの推進を図り、地域の魅力発信や関係人口の形成を進めます。

大施策 4-2 芸術(アート)を活用した魅力づくり

- アートを活用した震災後の地域コミュニティ強化と各種ツーリズムの推進



芸術祭やツアー

【大学連携】 大学連携を軸とした人材育成、イノベーションの推進

これまで培ってきた大学連携を軸に、人材育成や起業喚起を図るとともに、SDGs推進の拠点である能登SDGsラボを活用し、研究、経済、地域課題のマッチングを行い、過疎地のイノベーションを推進します。

大施策 4-3 大学連携による人材育成事業

- 能登里山里海SDGsマイスタープログラム
- 学生による現地活動の推進



能登里山里海 SDGs マイスタープログラム

【珠洲ブランド】 里山里海をベースとした「珠洲ブランド」の価値向上

特徴あるこれまでの取り組みを復興への光と位置付けます。アートや先駆的な技術を取り入れた新たな地域づくり、新たな生業(なりわい)づくりを推進することにより、「珠洲ブランド」の価値向上を図ります。

大施策 4-4 世界農業遺産など「珠洲ブランド」の価値向上

- GIAHSに認定された里山里海の保全・活用
- トキ放鳥に向けた餌場づくりなど地域の取り組み支援
- 引退競走馬を活かす取り組みの推進

大施策 4-5 SDGs の推進

- 地域循環共生圏の形成
- 能登 SDGsラボの活用による地域課題の解決の推進



揚げ浜塩田

● 代表的な事業

<イメージ図の出典>

すつとすつと <https://sutto-zutto.com/ishikawa.onlinetous2023/>

奥能登国際芸術祭 2023 <https://oku-noto.jp/ja/pamphlet.html>

能登里山里海 SDGs マイスタープログラム(すつとすつと) <https://sutto-zutto.com/meister.2022/>

珠洲市観光サイト GO TO SUZU <https://www.city.suzu.lg.jp/site/kankou/1688.html>

基本方針5 DXの推進による「つながる社会」の実現

【防災×DX】 DX を活用した災害に強い地域づくり

自動運転やドローン配送等の導入、スマート生活の実現などにより「つながる社会」の実現を目指し、「より強靱で安全な、災害に強い地域づくり」を図ります。

大施策1-1 市民生活を支える公共施設の強靱化(再掲)

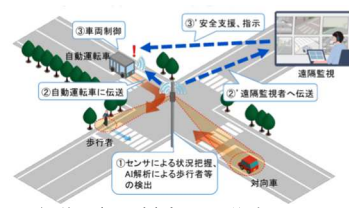
- 自動運転技術に適した道路環境整備

大施策1-3 危機管理体制の検証と充実(再掲)

- ICTを活用した避難経路等の情報伝達や平時における市民の健康状態の把握、情報共有体制の構築

大施策1-4 情報通信基盤の強靱化(再掲)

- 無線通信の高度化に向けた5G等の普及促進



自動運転に対応する道路インフラ



5G等の普及促進のイメージ

【生活×DX】 DX を活用した利便性の高い暮らしの環境整備

オンライン授業の充実、オンラインによる保健指導、行政手続きのオンライン化等により、「暮らしとコミュニティの再建」を目指します。

大施策1-5 スマート生活の実現(再掲)

- 行政手続きのオンライン化・窓口サービスの多様化

大施策2-4 学びの環境の再建(再掲)

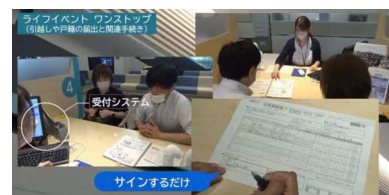
- オンライン授業の充実

大施策2-5 医療・福祉・介護予防の再構築(再掲)

- 特定健診・特定保健指導の実施

大施策2-6 地域公共交通の再建(再掲)

- 自動運転バスの導入



行政の「書かない窓口」のイメージ



ICTを活用した学習・研究活動のイメージ

【産業×DX】 DX を活用した生産性の向上を図るなりわい再建

スマート農業、スマート水産業の導入をはじめとする先端技術を活用した生産性の向上に取り組む、「生産性の向上を図るなりわいの再建」を目指します。

大施策3-2 農林水産業の再生(再掲)

- ICTなど新しい技術の活用による作業の省力化、経営の効率化

大施策3-5 観光産業の再建(再掲)

- 震災で失われた名勝や風景等を拡張現実(AR)技術を使って復元し、記念撮影ができるスポットを設置

大施策4-1 移住・定住の促進(再掲)

- 多様な働き方に対する支援



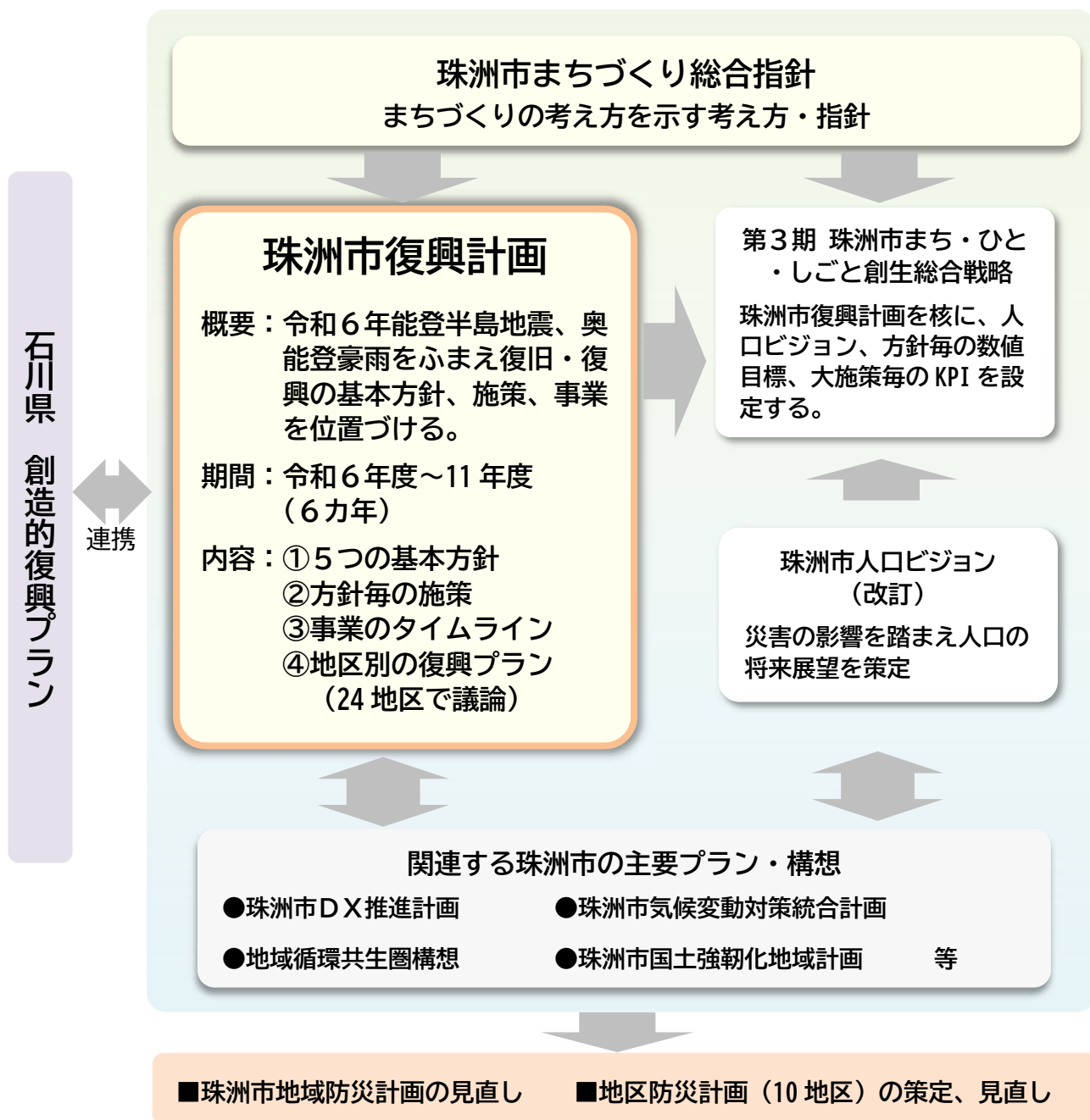
スマート農業のイメージ

● 代表的な事業

4. 計画の位置づけ

「珠洲市復興計画」は、「珠洲市まちづくり総合指針」を上位計画とし、「石川県 創造的復興プラン」と連携し、実現化を図ります。また、「第3期 珠洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と連動し、人口ビジョンに示す人口の目標や、数値目標・KPIにより進捗の管理を行います。

「珠洲市復興計画」の実施により、「珠洲市地域防災計画」の見直し、「地区防災計画」の策定、見直しを図ります。



※珠洲市復興計画は進捗に応じて随時見直ししながら進めます。
地区別の復興プランは各地区のまちづくり協議会と連携して進めます。

お問い合わせ 珠洲市 令和6年能登半島地震復旧・復興本部
〒927-1295 石川県珠洲市上戸町北方1字6番地の2
電話番号:0768-84-5115
ホームページ <https://www.city.suzu.lg.jp/>